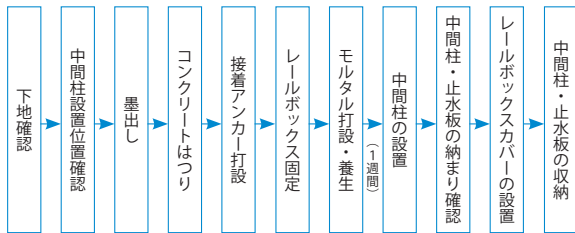


# フラットセーフライト専用 中間柱(2段タイプ用) 施工方法

●1/10以上の勾配がある場所には設置できません。

●中間柱・サイド柱・サイド柱Lの奥行き寸法はそれぞれ異なるため、場所によっては組み合わせて使用できない場合があります。



## 施工の際に準備するもの

- ・ハンマードリル
- ・コンクリートブレーカー
- ・水準器等
- ・レーザー水準器
- ・下地補修、レール埋め込み用インスタントコンクリート
- ・コンクリートドリルφ14.5
- ・ディスクグラインダー
- ・集塵機・ダストポンプ等

※コンクリートの状態によっては施工時にひび割れ・欠けが生じることがあります。



☆施工を始める前に別紙「部品一覧表」にて内容物を確認してください。  
施主様への引き渡し時に必要部品が揃っていることをご確認ください。

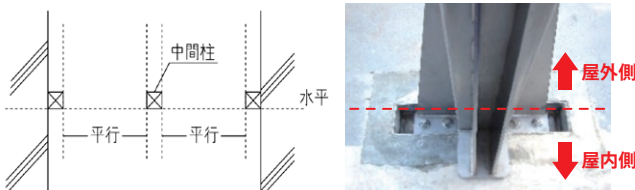
## 事前工事

### 1. 下地確認

- 2mm以上の凹凸がある場合は凹凸を避ける・平坦にするなどの調整を行ってください。
- 下地の基礎強度が十分であることを確認ください。
- 十分でなければ事前に基礎工事をしてください。

### 2. 中間柱設置位置

- レーザー水準器や水系を使用して、設置間口が水平であることを確認してください。
- 水平ラインと中間柱の前面ラインが合っていることを確認してください。



### 3. 墨出し(コンクリート研り)

- 中間柱の位置が決まりましたら、コンクリートを研る箇所の墨出しを行います。



### 4. コンクリート研り

- 墨出しを行った箇所に沿って切り込みを入れ、コンクリートを80mm深さまで研ってください。



### 5. 墨出し(接着アンカー打設)

- コンクリートを研りましたら、接着アンカーを打設する6ヶ所の墨出しを行います。



### 6. 接着アンカー打設

- 墨出しを行った位置にアンカーの下穴を開けます。(コンクリートドリルφ14.5)
- 穿孔する深さに注意してください。(深さ100mmが目安です。)
- 集塵機・ダストポンプ等を使用して、穴内の切削粉を取り除いてください。
- 接着アンカーで寸切りボルトを垂直に固定してください。
- 寸切りボルトは45度にカットしてから使用してください。



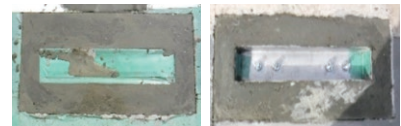
### 7. レールボックス固定

- レールボックスを水平調整して、付属の六角ナットを上下から締めて固定してください。(上下2ヶ×6ヶ所)
- レールボックスは必ず水平に固定してください。



### 8. モルタル打設・養生

- 固定したレールボックスの上部を養生テープなどで覆い、モルタルを打設してください。
- 打設したモルタルと下地が平滑になるように仕上げてください。



### 9. 中間柱の設置

- ボックスレンチで中間柱固定用ナット(M12 フランジナット)を締めて、中間柱をレールボックスに固定します。
- 中間柱の向きにご注意ください。



### 10. 中間柱・止水板の納まり確認

- 中間柱を設置した状態で止水板を設置し、納まりを確認してください。
- 止水板の固定金具の位置合わせ方法は止水板に貼付してある手順書を確認してください。



### 11. レールボックスカバーの設置

- 平常時はカバーを付けてください。カバーは、付属のボックスレンチを取り外し穴に引っ掛けることで外れます。



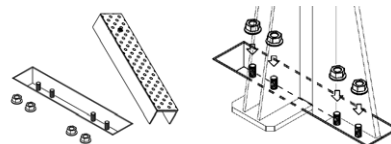
### 12. 中間柱・止水板の収納

- 中間柱・止水板を取り外し、所定の保管場所に保管してください。止水板と中間柱の部品(工具・ナット類)の保管は専用の収納袋をご使用ください。
- 部品の紛失にご注意ください。



## 使用時の設置手順

- ①レールボックスカバーの取り外し
- ②中間柱の設置(M12フランジナットの取り付け)



※底面に小石などがある場合は必ず取り除いてください。



施主様への引き渡し時に必要部品が揃っていることをご確認ください。

フラットセーフ  
ライト

ガイドライン	製品
止水板とは	
JIS等級	メカニズム
1段タイプ	
2段タイプ	特長
かんたん 2ステップ	
止水性	設置
軽くて強い	
簡易工事	設置条件
設置場所	
サイド柱	オフショ ン部品
サイド柱L	
屋内用 サイド柱	ドアセンサー 回避部材
中間柱	
お客様の声	設置例
標準仕様図	
1段タイプ	設置方法
2段タイプ	
サイド柱	屋内用 サイド柱
サイド柱L	
中間柱	保管方法
メンテナンス 交換パッキン	
フラットセーフ パネル	